

# 地元の文化遺産を伝える

## 香南市の魅力を開発する歴史案内人会

史跡や名所旧跡、伝説や昔話、さらに郷里の歴史を動かした先達：香南市には多くの貴重な文化遺産が埋まっています。その魅力を市内外の方に紹介しているのが、香南市歴史案内人会（主宰・野村土佐夫）です。ちまたでは歴史好きを「歴男」「歴女」というそうですが、わが町の歴男、歴女を訪ねてみました。

担当／広報編集委員 島崎則彦

### 熱心に耳を傾けて

先日、のいちふれあいセンターで開催された案内人会の勉強会を訪ねてみました。「野市歴史めぐり」の資料を基に次々と史跡が放映され、4人の案内人が説明に立ちました。「案内一つするも、その周辺の事柄を多く知っちゃかんといかん」と、説明に立った歴女の話でした。

現在、案内人は28人で、平均年齢は65歳前後です。案内人を志願した理由は、退職後「地域に役立ちたい」「子どもたちに地元の歴史を伝えたい」という健気な言葉が返ってきた。

### 兼山の遺構周辺に名物男が…

では、今回の香南市史跡を少しのぞいてみましょうか。兼山の造った5つの用水路はどなたもご存じでしょう。特に分水点「三叉」は桜の名所でもあります。ここから南に下ると「ドクレ」の半四の墓があります。大飯喰らいでも働き者でした。この半四の物語は単行本として野市図書館



▲史跡の写真を見ながら説明をする案内人



▲勉強会の仕上げは野村会長からの補足説明



にそろっています。

また、香宗我部氏の居城である香宗城をはじめ、深淵、前山、烏ヶ森、富家など多くの城跡もあり、画面を見ながら城跡を見たくまりました。

### まずは歴史を楽しみながら…

市内の史跡は未整備の箇所が多いとのこと、「超」級の文化遺産が草に覆われ埋もれたままになっているのが残念」と野村会長の弁。また、「みんなで地元の埋もれた歴史を掘り返そう」と文化財の再発見にも力をいれています。

5月には岡山から1,000人単位のツアーが来るそう、今から準備に精出して案内人会。「おもてなしの心でツアー客に接するのは、まず市民が、地元の歴史を学びながら、楽しむことから始めるのが大事だ」と歴史案内人会への参加を熱望されています。

### ●連絡先

赤岡町「香南市歴史案内人会」野村土佐夫  
☎(54)32335



▲歌碑の説明をする案内人(香我美町岸本)

### 編集後記

▼史跡や名所旧跡、伝説・昔話など、香南市の文化遺産を伝える活動をしている歴史案内人会。普段見慣れた森や石積み、実は史跡であることもあります。遠い昔のできごとを時代背景とともに知ることができるとはワクワクします。(猪)

▼成人式の取材へ伺いました。お酒のCMではありませんが私も二度目の成人式を迎えてしまったので、新成人の皆さんの倍生きているなあと思いますが、私の頭の中とフりは二十年前とさほど変わっていないのうなのでヨシとします。(w)(た)

▼先月のクイズ、問題は表紙の人数。私も登場させていただき23人でした。1人少ない回答がありました。リースの中の私を見つけれなかったのかな。懲りずにまた、ご応募よろしくお願ひします。(T)

▼「高知家の食卓」県民総選挙、皆さん投票されましたか？私も大好きなお店を3つ投票しました。結果は3月9日(日)「土佐のおきやく2014」で発表されます。香南市の「教えちゃりたい食の店」たくさん選ばれるといいですね。(あ)

### 《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp